

常磐東小学校 校長だより

常なる磐

つねなる いわ

令和3年1月15日(金)

◇ 校内書き初め会

校内書き初め大会。本当に価値のある本校独自の素敵な行事である。



ご覧のように全校児童が体育館で書き初めを行う。
密を避けても実施できるのが本校の強みである。

6年生の書き初めの文字は【伝統を守る】。正座をし、書に正対する。
今の、伝統を守る行為を文字に認める（したためる）。まさに書の道。書道だ。

12月の教室。書写の時間を使った書き初めの練習を覗いた際も、机を後方にずらし、空間を作って書き初め用のスペースを確保し、大会と同様の方法で練習していた。児童が教室に20名もいれば、とてもできない。これも本校の強み。

写真を見てもらってわかるとおり、とても姿勢がよい。整理整頓もできている。学校の書道の時間だけでなく、冬休みの宿題も同様にお行儀よくやれていたことだろう。

教育課程で決められているとおり、書道は3年生以上で行う。1・2年生はどうかといえば、国語の時間に文字を練習している。

一番伸びていると感じたのは1年生である。休校期間中の定期登校の頃には、ひらがなの練習だった。縦横一画を書くのさえ苦勞していたが、今は違う。

ご覧のように姿勢もよい。背筋が伸びる子供の姿は美しい。



2年生も負けていない。



流石の上級生。筆だけでなく、半切の用紙の扱い方も手慣れたものだ。



本校では、3学期の始業式直後に行うのが「校内書き初め大会」。
まさに最初の行事である。

書き初めに真摯に対峙する子供たちの様子を見て、本当に安心した。
そして、令和3年、47名のそれぞれの学校生活が最高の形でスタートした。

